

第3次基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理の結果について

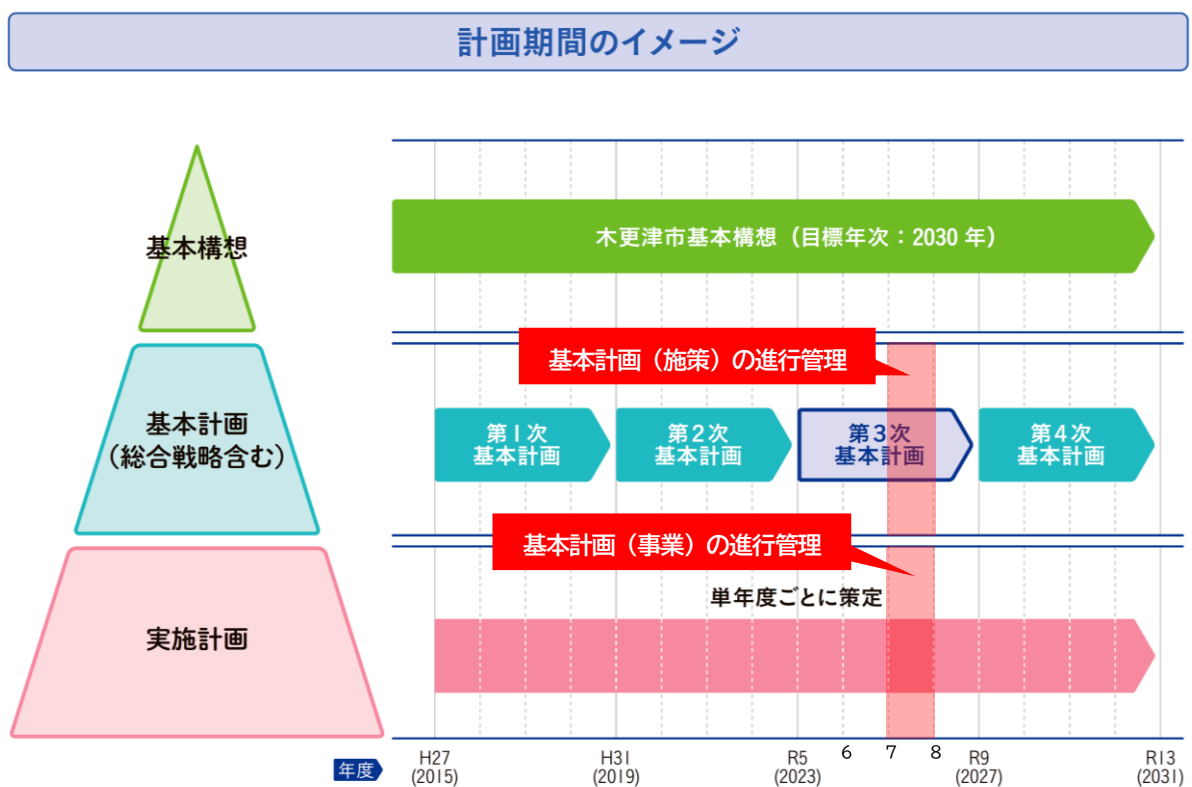
1 第3次基本計画について

木更津市総合計画は、本市のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるための指針となるもので、基本構想、基本計画、実施計画の3階層で構成しています。

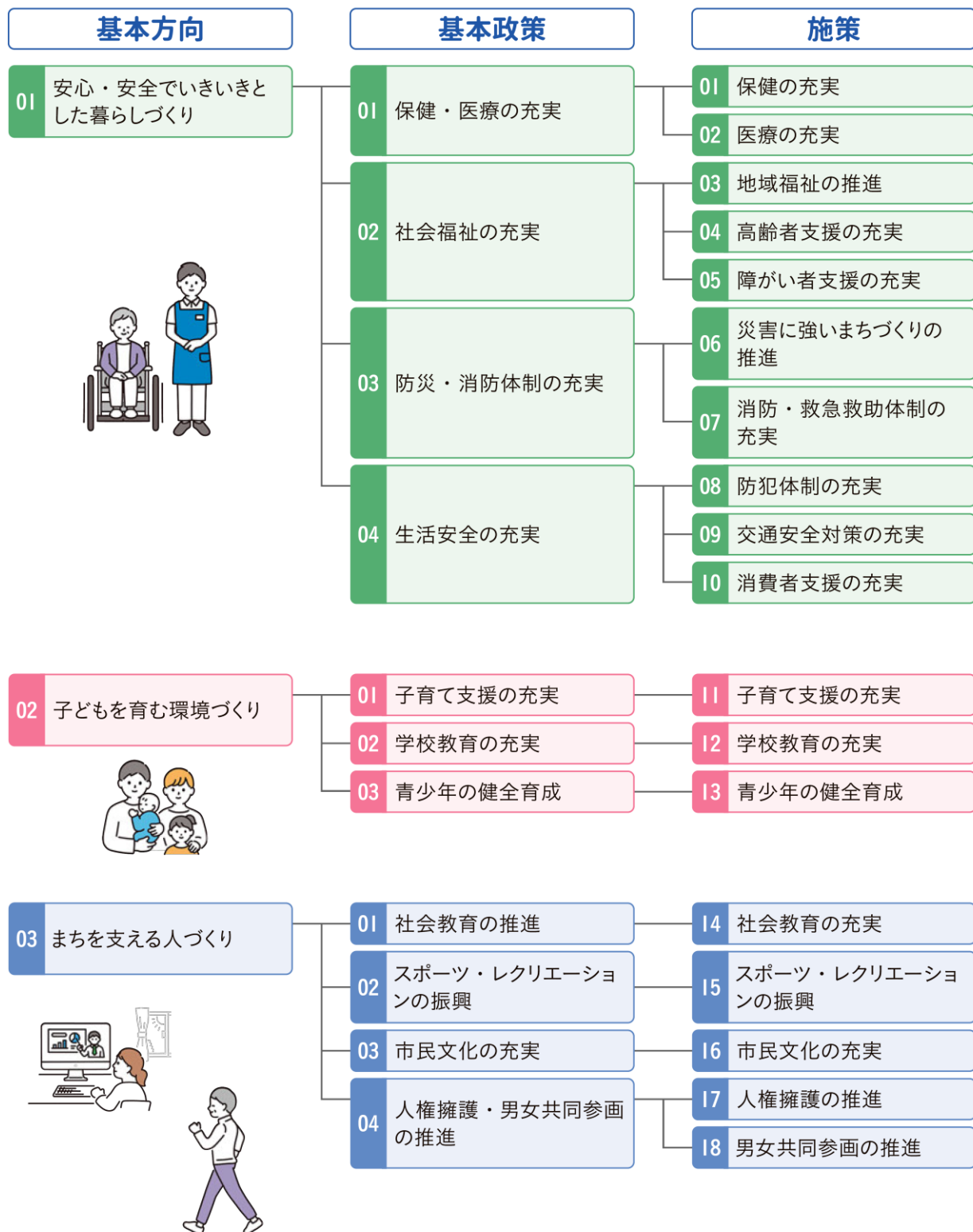
基本構想は、本市がめざすべき将来像を明らかにし、これを実現するための基本的な方向性（基本理念や施策の大綱）を示したもので、令和12年を目標年次としています。

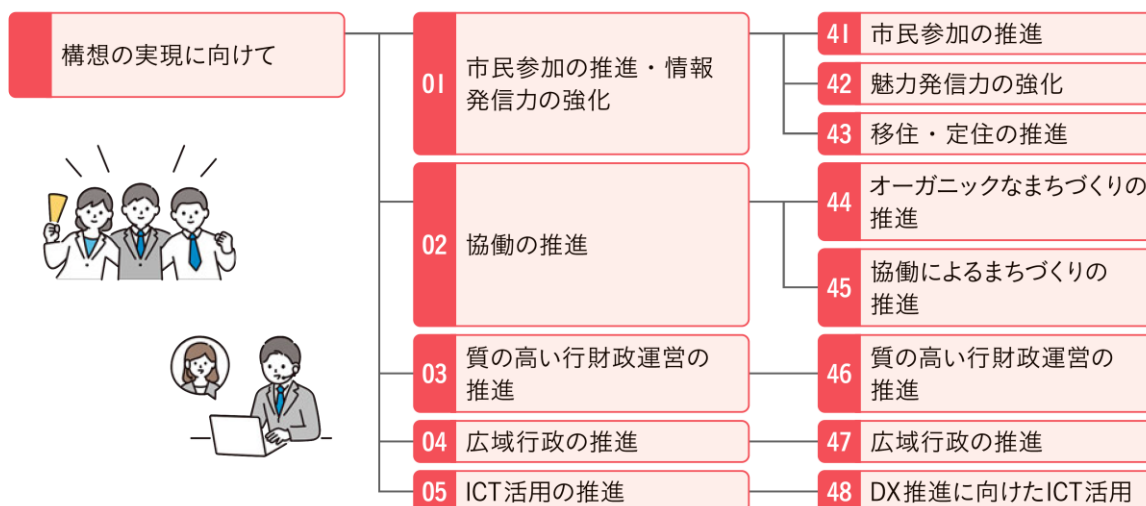
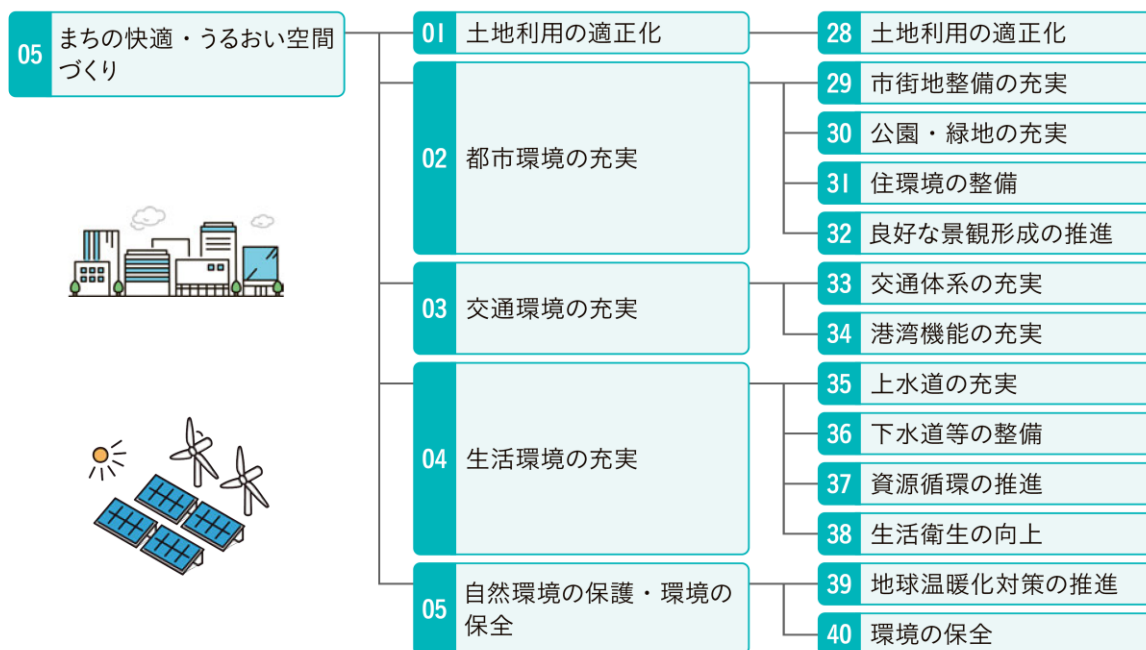
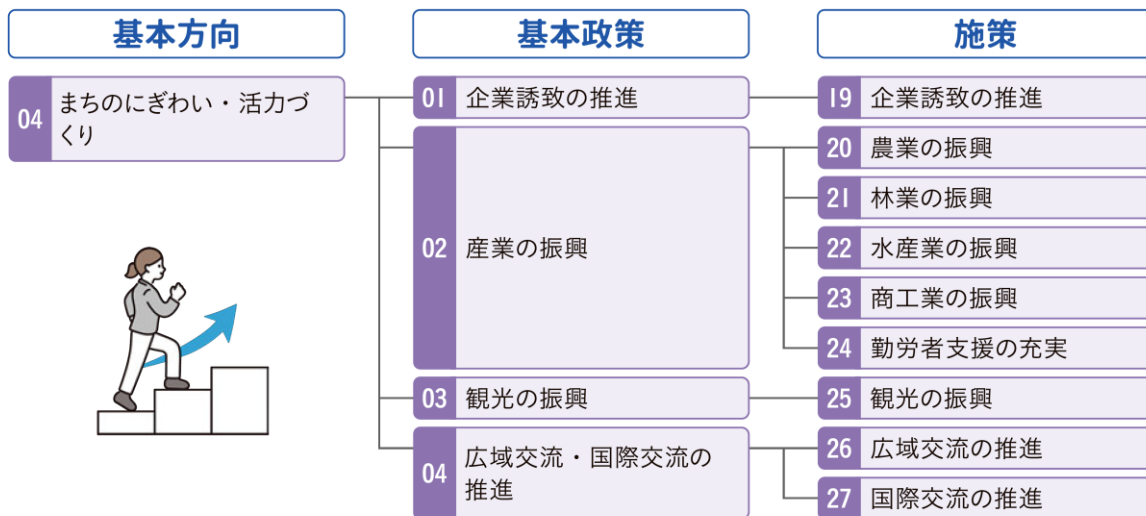
基本計画は、基本構想を実現するための基本的な考え方や施策の方向性等を基本方向別に示したもので、4年ごとに策定しています。

実施計画は、基本計画に位置付けた施策目標を達成するために進める様々な事業のうち、特に重点的に取り組む事業（重点事業）について、毎年度の予算編成と連動させた計画です。令和7年度は74事業を位置付け、各事業に取り組みました。



2 第3次基本計画 施策体系





3 第3次基本計画に位置付けた施策の進行管理

第3次基本計画（令和5年度～令和8年度）に位置付けた48の施策について、それぞれの施策の目標達成に向け、令和7年度の実績結果や課題を踏まえた今後の方針について検討する進行管理を実施したので、取りまとめ結果を報告します。

なお、施策別の詳細については、資料2「第3次基本計画（施策）進行管理票」をご参照ください。

基本方向		施策数	達成（進捗）度		
			A	B	C
(1)	安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	10	0	9	1
(2)	子どもを育む環境づくり	3	1	2	0
(3)	まちを支える人づくり	5	1	4	0
(4)	まちのにぎわい・活力づくり	9	2	6	1
(5)	まちの快適・うるおい空間づくり	13	1	11	1
(6)	構想の実現に向けて	8	4	4	0
合 計		48	9 18.8%	36 75.0%	3 6.2%

※達成（進捗）状況については、施策の進行管理票における取組（進捗）状況や成果指標などを総合評価し、3段階で表示しています。

- A 目標達成または順調に進捗している
- B 概ね順調であるが、より一層の取組（施策）の推進が必要（目標達成に向け一定の進捗がある）
- C さらに重点的な取組（施策）の推進が必要

4 第3次基本計画の重点事業の進行管理

重点事業とは、第3次基本計画に位置付けた48の施策目標を達成するために、市が取組を進める様々な事業のうち、特に重点的に取り組む事業です。

市では、令和7年度に実施する計画とした74の重点事業について、取組状況を把握し、必要に応じて計画の見直し等について検討を行う進行管理を実施しましたので、進捗状況の取りまとめ結果を報告します。

なお、事業別の詳細については、資料3「第3次基本計画（事業）進行管理票」をご参照ください。

（単位：千円）

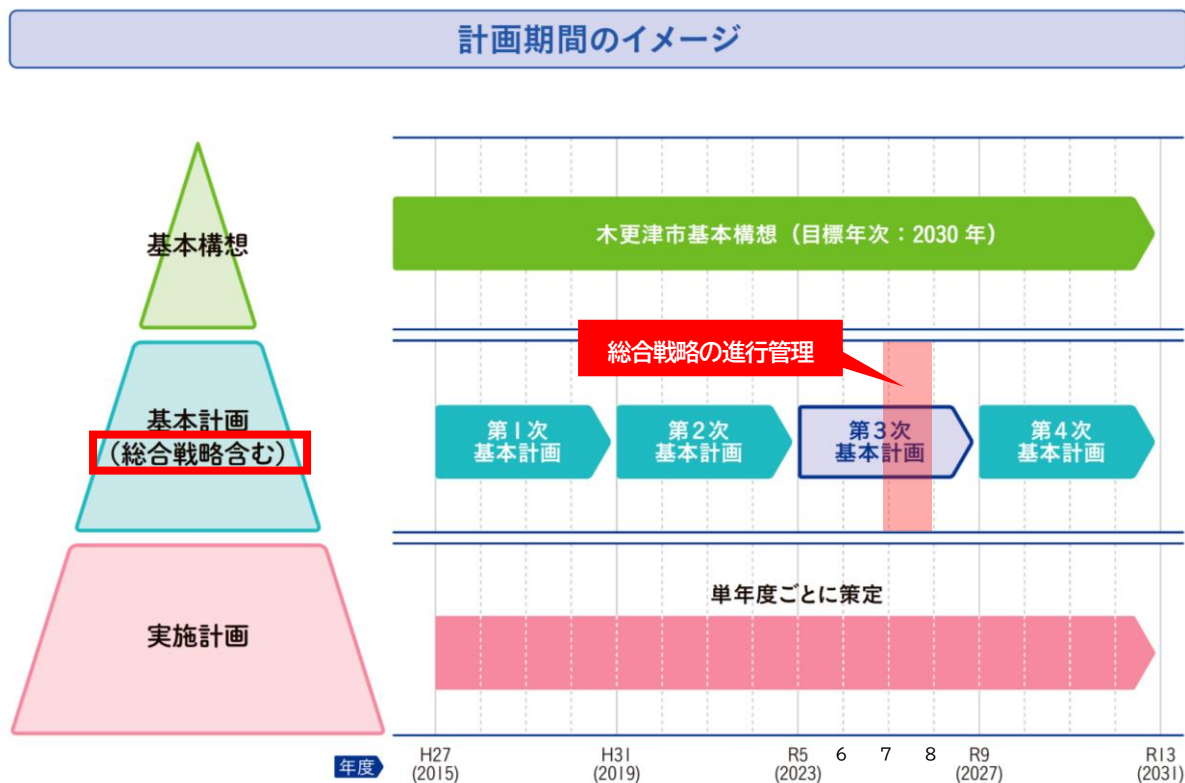
基本方向		事業	進捗度			前年度 繰越額	当初 予算額	決算 見込額
			○	△	×			
(1)	安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	14	10	4		260,736	1,303,301	1,056,118
(2)	子どもを育む環境づくり	13	10	3		288,060	1,538,194	1,290,893
(3)	まちを支える人づくり	3	1	2		0	809,525	23,238
(4)	まちのにぎわい・活力づくり	12	10	2		98,823	212,618	196,871
(5)	まちの快適・うるおい空間づくり	24	17	6	1	712,626	2,328,694	1,263,985
(6)	構想の実現に向けて	8	6	2	0	92,187	1,355,040	966,582
合 計		74	54 73.0%	19 25.6%	1 1.4%	1,452,432	7,547,372	4,797,325

※進捗状況については、当該年度の実施計画に対し、事業の取組状況を3段階で表示しています。

- 計画どおり実施・・・・・・・・・・令和7年度実施計画書のとおり実施できた事業
- △ 計画どおりには実施できなかった・・・事業の見直しや繰越等により、実施計画どおりには実施できなかった事業
- × 事業の中止・休止・・・・・・・・・・事業の見直し等により、中止もしくは休止した事業

5 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

「第3期総合戦略」は、「第3次基本計画」に位置付ける各施策の中から、地方創生の推進に向けた戦略的な取組を分野横断的に抽出し、基本計画と一体的に策定した計画です。



総合戦略では、4つの基本目標を設定しています。

- 基本目標1▶▶地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む
- 基本目標2▶▶多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる
- 基本目標3▶▶自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を推進する
- 基本目標4▶▶市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する

基本目標ごとに基本的方向を定め、基本的方向ごとに基本計画の関連施策と主な取組を位置付けています（関係性は6・7ページを参照）。

なお、進捗状況を確認するための指標として、各基本目標においては「第2期総合戦略」からの継続性を踏まえた数値目標を設定し、基本的方向においては「第3次基本計画」との関連性が高い施策の指標を用いて重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

6 第3期総合戦略と第3次基本計画との関係

基本目標	基本的方向														
		01 保健の充実	02 医療の充実	03 地域福祉の推進	04 高齢者支援の充実	05 障がい者支援の充実	06 災害に強いまちづくりの推進	07 消防・救急救助体制の充実	08 防犯体制の充実	09 交通安全対策の充実	10 消費者支援の充実	11 子育て支援の充実	12 学校教育の充実	13 青少年の健全育成	14 社会教育の充実
1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む	(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	●										●			
	(2) 働きながら産み育てやすい環境づくり														
	(3) 「木更津っ子」を育む教育の充実												●	●	
2 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる	(1) 農林水産業の成長産業化への支援														
	(2) 産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援														
	(3) 企業誘致の推進														
	(4) 観光産業の競争力強化														
	(5) 安定した雇用の確保														
3 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を推進する	(1) 多様なライフスタイルがかなう定住の推進														
	(2) 快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成														
	(3) 木更津の様々な魅力の情報発信の強化														
	(4) アクアライン等を活かした交流人口の創出														
	(5) 多様な地域資源を活かした関係人口の創出														
4 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する	(1) 市民力・地域力による自立した地域づくり														
	(2) 生物多様性を育む自然との共生														
	(3) 生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり	●			●										●
	(4) ふるさと木更津づくり														
	(5) 安心で暮らしやすい防災都市づくり					●									
	(6) 多様な主体との連携推進														
	(7) DX推進による住みよいまちづくり														

木更津市第3次基本計画の48施策

施策番号	施策名称	進捗状況
48	DX推進に向けたICT活用	●
47	広域行政の推進	●
46	質の高い行財政運営の推進	●
45	協働によるまちづくりの推進	●
44	オーガニックなまちづくりの推進	●
43	移住・定住の推進	●
42	魅力発信力の強化	●
41	市民参加の推進	●
40	環境の保全	●
39	地球温暖化対策の推進	●
38	生活衛生の向上	●
37	資源循環の推進	●
36	下水道等の整備	●
35	上水道の充実	●
34	港湾機能の充実	●
33	交通体系の充実	●
32	良好な景観形成の推進	●
31	住環境の整備	●
30	公園・緑地の充実	●
29	市街地整備の充実	●
28	土地利用の適正化	●
27	国際交流の推進	●
26	広域交流の推進	●
25	観光の振興	●
24	勤労者支援の充実	●
23	商工業の振興	●
22	水産業の振興	●
21	林業の振興	●
20	農業の振興	●
19	企業誘致の推進	●
18	男女共同参画の推進	●
17	人権擁護の推進	●
16	市民文化の充実	●
15	スポーツ・レクリエーションの振興	●

7 第3期総合戦略の進行管理の結果について

4つの基本目標ごとに、指標として位置付けた数値目標の令和7年度における進捗状況と検証結果について報告します。

なお、基本的方向やKPIの詳細については、資料4「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理の結果について」をご参照ください。

基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む

数値目標		基準値 計画策定時	実績値 R5年度	実績値 R6年度	実績値 R7年度	目標値 R8年度
指標 1	出生数	948人 (令和3年度)	891人 (R6.3.31)	843人 (R7.3.31)	831人 (R8.3.31)	1,000人
指標 2	幼年期(0歳～4歳)人口の 社会増	102人 (令和3年度)	38人 (R6.3.31)	62人 (R7.3.31)	15人 (R8.3.31)	230人
指標 3	市内の小学校1年生の児童 数	1,194人 (令和3年度)	1,159人 (R6.3.31)	1,160人 (R7.3.31)	1,090人 (R8.3.31)	1,194人

基本目標2 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる

数値目標		基準値 計画策定時	実績値 R5年度	実績値 R6年度	実績値 R7年度	目標値 R8年度
指標 1	「らぶ-Biz」の支援を受けて 新規創業した件数【累計】	69件 (令和4年12月末)	101件 (R6.3.31)	122件 (R7.3.31)	148件 (R8.3.31)	100件
指標 2	有効求人倍率	1.22倍 (令和3年度平均)	1.39倍 (令和4年度平均)	1.34倍 (令和5年度平均)	1.42倍 (令和6年度平均)	1.77倍

基本目標3 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を推進する

数値目標		基準値 計画策定時	実績値 R5年度	実績値 R6年度	実績値 R7年度	目標値 R8年度
指標 1	人口の社会増	721人 (令和3年度)	1,278人 (R6.3.31)	886人 (R7.3.31)	842人 (R8.3.31)	1,650人
指標 2	年間観光客入込客数 (大規模集客施設を除く)	1,445千人 (令和4年)	1,557千人 (令和5年)	1,807千人 (令和6年)	1,599千人 (令和7年)	1,837千人

基本目標4 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する

数値目標		基準値 計画策定時	実績値 R5年度	実績値 R6年度	実績値 R7年度	目標値 R8年度
指標 1	木更津市に愛着や 誇りを感じている人の割合 【市民意識調査結果】 該当回答者数/全回答者数	78.7% 822/1,045人 (令和3年度)	—	83.5% 817/978人 (令和6年度)	82.4% 741/899人 (令和7年度)	90%
指標 2	災害対策コーディネーター 養成講座受講者数【累計】	261人 (令和4年12月末)	290人 (R6.3.31)	310人 (R7.3.31)	339人 (R8.3.31)	375人
指標 3	認知症サポーター 養成講座受講者数【累計】	11,090人 (令和4年12月末)	12,195人 (R6.3.31)	13,121人 (R7.3.31)	13,973人 (R8.3.31)	13,500人